

～はしか（麻しん）・風しんの

予防接種を受けましょう。～

高校3年生のみなさん、平成 20 年4月から、高校3年生に相当する年齢の人は、はしか（麻しん）・風しんの予防接種を受けることになりました。過去に一度接種を受けている人も、もう一度接種を受けてください。

注：高校3年生に相当する年齢の人とは平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの人です。

はしか（麻しん）・風しんってどんな病気なの？

- ・ 潜伏期間 10～12 日
（無症状期）
- ・ 症 状 熱・せき・鼻水・目の充血などの症状が現れます。



数日すると赤い発疹（ぶつぶつ）が、首筋・顔から出て、高熱がとなり、全身に広がります。

- ・ 合 併 症 肺炎や脳炎を引き起こすことがあり、1,000 人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。さらに 10 年ほどしてから亜急性硬化性全脳炎という重い脳炎が 10 万人に1人の割合で発生することがあります。

予防接種って、お金がかかるの？

住んでいる市区町村が、負担してくれます。一般に、はしか（麻しん）・風しんの予防接種を受けるには、1万円から2万円程度の費用がかかります。しかし、高校3年生の1年間に限り、住んでいる市区町村から通常かかる費用の全部または一部についての助成を受けられます。費用や接種を受ける方法については、お住まいの市区町村に問い合わせてください。



就職や進学のとときに必要なの？

必要な場合があります。はしか（麻しん）にかかると重症化しやすい人と接する機会の多い医療・福祉や教育・保育関係などの職業に就く人は、自らが感染源にならないようはしか（麻しん）や風しんに対する免疫をもっていることが求められます。

このような職業に就くために必要な実習への参加の際には、はしか（麻しん）に対する免疫を持っていることが条件となることがあるので、過去にはしか（麻しん）や風しんにかかったことが明らかでない場合には、合計2回の予防接種を済ませておくことが大切です。

「予防接種証明書」を病院でもらい、新学期に

保健室へ提出してください。



※9月末に予防接種実施状況の調査をさせていただきます。
ご協力をお願いします。